

承認番号	3230
研究課題名	法医剖検例における脾臓被膜下および間質内出血の意義と脾臓関連ホルモンの動態について
研究の意義・目的	法医剖検例において、肉眼的に脾臓傷害を伴わない出血を観察することがあります。また、この出血は窒息死症例に多く観察されることから、低酸素・虚血との関連性が考えられました。しかし、この脾臓出血の意義について系統立てて検討された報告は殆どありません。そこで私たちは、脾臓出血の意義について、外分泌および内分泌ホルモンとの関連性を検討することとしました。
研究を行う期間	承認後～2024年3月31日
研究対象者の範囲	大阪市立大学法医学教室において実施された法医解剖例
お願いする内容	<input type="checkbox"/> 大阪市立大学医学部院のみで研究いたします。 <input type="checkbox"/> 大阪市立大学医学部附属病院が共同研究の代表施設として研究いたします。
	法医解剖で得られた剖検所見、血液、組織、検査データを使用させていただきます。
頂いた試料・情報の提供方法	特定の個人を識別できない形で提供します。
頂いた試料・情報の管理について責任者	大阪市立大学大学院医学研究科法医学 教授 石川隆紀
この研究を行っている施設（共同研究機関）	大阪市立大学大学院医学研究科法医学 研究責任者：教授 石川隆紀
代表施設のURL	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/legalmed/
研究の成果を公表する方法	研究成果は研究対象者を特定できないようにした上で学会や学術雑誌等で公表する。
研究に協力をしたくない場合	本研究の対象者の御遺族の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。
連絡先	担当者：石川隆紀 mail: legalmed@med.osaka-cu.ac.jp TEL: 06-6645-3767 FAX: 06-6634-3871